

登録団体紹介

「直行直帰」のヘルパーの仕事は、ある面孤独でもあります。それでも大きな事業所では勉強しあう機会もありますが、小さい所ではなかなか難しい状況です。仕事の悩みを共感しあったり、技術を高めあったりできる場所がほしい。そんな思いで2006年から活動を始めました。

介護職の勉強する場所をつくる
介護職種の横のつながりをつくる
を目的に、現在は月に1回ぐらいのペースで勉強会を開いています。会員は約30名。職種は「サービス提供責任者」が大半で、ケアマネージャー・グループホーム職員・介護ヘルパーなどが数人います。勉強会への参加は会員外でもOKです。

高槻ヘルパー交流会

- ・ホームヘルパーと介護職のための「医療サイン」
 - ・よりよい援助関係を築くスーパービジョン
 - ・コミュニケーション技術について
 - ・生活の質を上げるオムツアセスメント
- これらはこれまで勉強してきた課題です。今後「認知症サポーター養成講座」などを予定しています。

介護者に便利で利用者に優しい製品。今日はオムツを試着してみました。



*連絡先
黒崎：090-7751-5775



定年退職後いくつかのボランティアを経験してきましたが、「高槻市で他の人がやっていない事をやってみよう」という思いをずっと持っていました。そんな中でたどりついたのが「おもちゃ病院」。高槻市にはなく、近隣の市町村の半数強にあり、できそうな気がしましたので、さっそく茨木と枚方のおもちゃ病院で見習いをさせてもらいました。

その方達の応援を頂きながら、2008年1月に病院開始にこぎつけました。現在の一番の課題は、高槻市・島本町在住のスタッフが少ないこと、認知度が低いことなどです。高槻市・島本町在



住(勤務・通学を含む)で、関心を持ってくださる方がいればぜひ一度覗いてみて下さい。またご紹介ください。年齢・性別は関係ありません。ただし、故障とはいえ大切にされている他人様の持ち物を扱いますので、無責任な気持ちでは困ります。

現在病院は、JR高槻南隣のグリーンプラザ3号館3階の、高槻市ボランティア・市民活動センターをお借りして、原則毎月第1土曜日、9時30分～12時に開設しています。治ったおもちゃを嬉しそうに持って帰るところを見てもみませんか。ご連絡をお待ちしています。

*連絡先 弘瀬：674-2339

NPO法人「とうりゃんせ」

NPO法人「とうりゃんせ」をスタートさせて4年目です。15年ほど前、養護学校のお母さんたちと「働く場づくり」のために資金活動をし、喫茶店「ワークショップとうりゃんせ」を開店しました。障害者が働けてよかったのですが、訪れるのは関係者ばかり。もっと地域に根ざしてと悩んでいる時「街かどデイハウス」に出会いました。高齢



者・障害者・サポーターが一体となって取り組みを始めました。失敗もいっぱいありましたが、人と人のかかわりっていいですね。日がたつにつれ

て理解し合えるようになりました。やっている中で自分の中のどこかにある「してやろう」という思い上がり、「してもらおう」側じゃないという気持ち。でも違うんですね。してもらったり、してあげたり。それが生活すること。こんな当たり前のことを「とうりゃんせ」は学ばせてくれます。宝物をいっぱいもらいました。夢は「街かどデイハウス」の延長線上で、グループホームを創ることです。家庭のにおいのするグループホーム。気持ちだけではできませんが、あきらめずに理想を高く掲げ、前進あるのみです。

*連絡先 とうりゃんせ 堀川：687-8602

編集後記

日常業務をしていても、いつもどこかに「ニューズレター」は潜んでいます。そして発行1か月くらい前になると俄然大きくのさばって、何をしていてもすぐニューズレターは大丈夫かとささやきます。そんな「おんぶおばけ」のようなニューズレターですが、取材のために出会う団体や方々からいただく情報やご苦勞は、編集している者を元気づけてくれます。だから続けられるのかなと…衣川

高槻市市民公益活動サポートセンターニュース

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp

http://www.takatsuki_kouekisuport.com/

発行 2008(平成20)年7月15日
高槻市市民公益活動サポートセンター
住所 〒569-0056 高槻市城南町3-1-1
西大冠小学校内
電話 072-674-3400
Fax 072-674-3401

行政との交流会の充実を

5/31・総会開かれる



5/31(土)14時から、サポートセンターで平成20年度サポートセンター管理運営委員会総会が開かれました。新体制になって2年目で、昨年度から新しく始まった「行政とのテーマ別交流会」をより実りあるものにしてい

くことを中心に、事業を展開していくことが確認されました。

また、11/29(土)に開催される「第4回たかつきNPO協働フェスタ」の事務局として、予算を計上し積極的にフェスタをサポートしていきます。

閉会後に行われた講演会には、登録団体のスタッフなども含め、40人余りが参加され、「まちづくりと市民活動」と題して、神戸松蔭女学院大学中林浩教授にお話いただきました。



市民協働のまちづくり事業に2事業が選定候補になりました

これまでの「協働活性化モデル事業」が平成19年度で終了。3年間の成果を踏まえ、平成20年度から、「市民協働のまちづくり事業」を実施することになりました。

新たな「市民協働のまちづくり事業」の特徴は、市民公益活動団体等との協働事業であって、(1)先駆性に注目した「はじめの一步支援事業」と、(2)既存事業であっても、新たな展開や地域的広がりをもたそうとする「地域の底力支援事業」に区分しています。

今回の応募件数は、3団体4事業でした。応募数が少なかったのは、新たな事業のため周知の徹底を図ったにもかかわらず、本来のNPOの事業に加えて協働事業に取り組まなければならなかったことや、実施体制の確立、自己資金の持ち出しなどの負担があったためと思われます。今回の事業から、「負担感」を軽減する一方策として、補助率を、70%から80%に改定していますが、今後一層のPRに努めていく考えです。

6月6日の第1次選考(書類選考)で3事業が通過し、7月1日の第2次選考(提案団体説明)では、2事業が選考委員会で選定候補に決定しました。今後、選考委員会の報告を受けて、行政手続きを経て採択となり、協働事業の実施となります。

選定候補事業 (はじめの一步支援事業) **認知症を理解し、地域で支える会の「認知症ケアのネットワークづくり」**
(地域の底力支援事業) **NPO法人SEANの「一時預かり保育と子育てに係わる生活支援事業」**

…目次…

- 1 面 総会、まちづくり事業
- 2~3面 まちづくり塾、行政との交流会、NPOフェスタ、市民公益活動の現場から「パソコンを教える」
- 4 面 登録団体の紹介、編集後記

■ NPOと行政テーマ別交流会開催

子どもの健全育成に関わるNPOと 新設の子ども部が交流



2008年度第1回目の「NPOと行政 協働のためのテーマ別交流会」が6月9日午後6時30分から市役所会議室で開催されました。

今回は、市の4月の機構改革で新たに設置された「子ども部」と、子育て・教育に関わるNPOとのテーマ別交流会をもつこととなりました。

市からは、子ども育成室長以下の各課長5人と市民相談センター所長、コミュニティ推進室長など3人が出席し、NPOは、登録団体でNPO10団体と役員・常任委員等5人が参加しました。

はじめに、行政側から子ども部設置の目的や業務についての説明があり、NPO側からは、活動の紹介や日頃の活動を通じての課題などの話が出されました。その後、

意見交換となり、相互にとって協働を進めていくための「初顔合わせ」の目的を果たすことができました。

今回の交流会が、子ども部と参加したNPOとの、今後の協働のきっかけとなることを期待するものです。

■ 第4回たかつきNPO協働フェスタ



日時 11月29日(土)

会場 高槻市生涯学習センター
展示ホール 他

いよいよ 動きだしました、

■ まちづくり塾が 地域の人材を発掘！ 始まりました

高槻まちづくり塾は、NPO活動への入門講座として、市役所を会場に市内全体から受講者を募集していましたが、今回から地域を特定して(第1回は「阿武野地域」)今城塚公民館で、開催することとなりました。開催にあたっては、地区コミュニティの協力を得てチラシを約800枚配布しました。

第1講座は、「NPOって何」をテーマに7月12日(土)に開催し、13日(日)には、地域のNPO4団体が活動を紹介しました。また、地域のNPO紹介パネルも展示され、今後、受講者は、実習を経て4回の入門講座を終えられます。

次は、9月に富田地域で開催を予定しています。ぜひ多数ご参加くださいますようご協力をお願いします。



第4回を迎える「たかつきNPO協働フェスタ」は左記のとおり開かれます。第1回実行委員会が7/15に開かれますので、そこで、全体のイメージができ、具体的に動き出すこととなります。

これまで2回の企画会議で話し合われたのは、会場の使い方や、展示方法、協働の具体化などについてで、これまでと違ったアイデアも出てきています。今出されて

いる案は、「フリーマーケット」を屋外で行なう、公開「テーマ別交流会」の開催、「子どものコーナー」ミニステージ、「個々の団体の活動PR」などがあります。

サポートセンターは、前回に引き続き事務局を担当し、行政との協働を軸に、積極的に宣伝しながら、楽しい「まつり」にしようとしています。

シリーズ：市民公益活動の現場から 第11回 {パソコンを教える}

デジタルデバイド(情報格差)の解消を目指せ

パソコンやインターネットが普及して、私たちの生活は随分便利になりましたが、パソコンを扱える人とそうでない人の格差はひろがっていきそうです。パソコンが使えなくて損をする人が少しでも少なくなるように、また、パソコンで生活を便利に楽しくすることができる人が増えるようにと、市民にパソコンを教える活動を続けているNPO団体をご紹介します。



NPO法人高槻ボラパソ ...「市民が市民を教え、また共に学ぶ」

NPO法人高槻ボラパソは、もともと、高槻市立富田ふれあい文化センター主催の「初級パソコン指導者養成講座」の卒業生が中心となって、2002年5月に任意団体として発足。高槻市民にボランティアでパソコンを教える団体として、活動してきました。

活動拠点となっている富田ふれあい文化センターとの協働事業として2004年度から実施している「中高年対象IT講座」は、現在、「超初心者コース」、「出直しコース」、「デジカメ・ブログ等体験コース」の全3コース。「超初心者コース」の場合は、「文字入力

する」「インターネットをみる」「メールをやりとりする」の3点が大きな柱。マウスの使い方やパソコンの起動・終了などの基本動作に慣れるために、Windows付属のトランプゲーム「ソリティア」を使ったり、大阪府の天気や高槻市の地図など身近なものを題材にネット検索したりと、工夫をこらしたカリキュラムとなっています。定員12名の教室に講師1名の他、アシスタント2名がついて教室の後ろから見守るなど、講座の進行についていけない受講生がでないように配慮されています。テキストは、カリキュラムにあわせて手作りしてボラパソオリジナルです。1ステップ1ステップ、パソコン画面の

切り替えに合わせて、必要な操作が詳しく図示されているので、家に帰ってからも、テキストを見ながら自分で復習することができるようになっています。いずれも5日間計20時間のコースで、これまでに500人以上の人が受講してきました。



受講生の作品
(富田ふれあい文化センター2階)

この他、「就労者支援パソコン講座」、「子どもパソコン教室」など行政等からの受託講座を実施したり、ワード・エクセルを使ったカレンダーや家計簿作り、デジカメ講座等、ボラパソ自主講座も実施しています。

講座の運営を担うボラパソ正会員は、現在約50名。指導者養成講座や内部研修を実施し、パソコンの技術とパソコン指導の技術を磨いています。

北摂SITAの会 ... ITを通して地域の活性化に寄与したい

SITA(サイタ)とはシニアITアドバイザーの略で、(株)富士通ラーニングメディアが認定する、シニア世代を対象にしたパソコン指導者資格のことで、北摂SITAの会は、北摂地区在住のSITAの1級および2級試験合格者を主なメンバーとして集まり、会員同士の更なるスキルアップを図ると

ともに、パソコン初心者へわかりやすい指導・助言を行なっていくことを目的としています。

高槻市内の大手町と深沢町の二カ所で開かれている「トラぼそ」は、会が運営する少人数制のパソコン教室です。初心者から、もっとパソコンを使いこなしたいと思っている中級・上級の人までを対象に、受講生のニーズにあわせてきめ細かい講座が特徴となっています。パソコンを持ち込むことができるので、自分の機種や設定に合わせて教室で勉強し、家に持ち帰ってそのまま使うことができます。

「LPレコードをCDにして残すにはどうすればいい?」「ネットでのお買い物、クレジットカードを使うのが心配だけど...」などなど、講座の後のお茶タイムには、アットホームな雰囲気の中、受講生の皆さんから、思い思いの質問が飛び交います。

また、HPゼミなど、会員・上級者を



「トラぼそ」教室風景

対象とした研究会も開催しています。

会のHPでは、市立図書館の図書予約や交通機関の時刻表の検索、ネットバンキング、株式投資、エクセルを使った住所録の作り方など、パソコン・インターネットを利用したの便利情報を紹介しています。

また、個人に対する支援だけではなく、ITアドバイザーとして、市民活動団体のIT強化にも協力しています。ITを通して地域の活性化に寄与することは、会の大きな目標となっています。

パソコン指導を通じて社会貢献したい方、PC講座・教室に関心のある方、IT相談を希望する方は、お問い合わせください。

NPO法人高槻ボラパソ takatukiborapaso@ar.wakwak.com
090-3659-1734(携帯電話)

北摂SITAの会 shiga@home.email.ne.jp



イベント・日常活動紹介

2008.7.16 ~ 2008.10.15

サポートセンターの登録団体が行なう、イベントや日常活動を紹介します。
掲載依頼は毎回発行予定日の5日前が締め切りです、ご希望の方はお問合せください

高槻市市民公益活動サポートセンター・ニュースレター係674-3400

勉強会

高槻ヘルパー交流会

サービス提供責任者を中心に、介護職のスキルアップをはかるため、勉強会を開催しています。関心のある方はお問合せください。

8月はおやすみです。

9月以降

「認知症サポーター養成講座」

「介護保険課」「地域包括支援センター」からの講師を迎えて勉強する予定です。

問い合わせ先

黒崎：090-775-15775



いろいろ

NPO法人「地域ひといき」

いきいき夏祭りバザー

日時 7月19日(土) 17:30~20:30

*雨天の時は20日に順延

場所 地域子育て支援施設 大塚いきいき園
大塚町5-8-5

夜店・あそびコーナー・イベントコーナー・バザーなど楽しめる催しがいっぱい。お気軽にお越しください。

親子日帰りキャンプ

日時 8月10日(日)

行き先 滋賀県グリーンパーク山東

参加費 2000円から

小学生キャンプ

日時 8月20日(水)~21日(木)

行き先 ガリバー青少年旅行村

参加費 6000円

参加ご希望の方は

問い合わせ：673-8156

Eメール：yl-21@nifty.com



見に来てね

手作り絵本サークル いろえんぴつ

12回目の作品展を開催します。内容も技法も自由に取り組める手作り絵本の魅力を多くの方に伝えたい、そんな思いで制作に励んでいます。ぜひお出かけください。

日時 9月11日(木)から9月16日(火)

10:00~18:00

*最終日は17:00までです

会場 交流ギャラリーはなみずき

(総合市民交流センター7F)

講演会

アイディアルファミリー希の会

子どものサインが見えますか?

-現代っ子の理解と子育てを考える-

家庭の中で加害者と被害者を生む、悲惨な時代を迎えました。幸せを願い育てながら、いつの間にか子どもの心が見えなくなり、不安を抱えているお母さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。

有害な情報が氾濫する中、子どもたちはどのようにとらえているのかを考え、これからの子育てに役立てていただきたいと思います。

日時 8月28日(木)13:30~15:30

会場 総合市民交流センター(4F第4会議室)

講師 三川俊樹先生

(追手門学院大学心理学部)

岡崎正子氏(本小学校教諭)

参加費 500円(資料代)

*保育があります。申し込みをしてください。

問い合わせ先 090-9997-5784(岩倉)

助 成 金 情 報

助成金情報の一部をご紹介します。詳しくは、必ず募集要項にてご確認ください。
募集要項・申請書は、助成元団体のホームページよりダウンロードできます。



環境保護、子どもや動物たちのサポートなど

LUSH チャリティバンク助成

LUSHは、英国生まれのフレッシュハンドメイドコスメ。LUSHチャリティバンク助成は、ボディクリーム「LUSHチャリティポット」の売上げを全額(消費税を除く)寄付し、自然環境の保護、子どもや動物たちのサポートなど、さまざまな分野でがんばっている人や団体を応援する制度です。

<こんな団体・個人を助成します>

- 自然環境・地球温暖化防止に関わる活動
- 化粧品における動物実験反対活動
- 希少な動物の保全活動
- 社会的弱者の支援
- 草の根活動(直接的な活動)
- 法人格、個人は問わないが、日本国内に活動拠点をもつこと
- 1年以上の団体としての活動実績をもつこと

<1 団体への助成額> 10～100万円 (活動の内容、プロジェクト内容を重視しますので、その目的を達成するための必要な経費であれば、人件費や間接費も助成対象になります。)

<応募～結果通知までの流れ>

- 応募締め切り【月末】 翌月書類選考 / 書類選考を通過した団体のみヒアリング
- 翌々月 社内外選考委員により最終決定 その月の月末までに可否の連絡 (メールにて)
- (*ただし、LUSHチャリティポットの販売は2008年9月26日で終了)

詳しくは、LUSHのホームページをご確認ください。 <http://www.lushjapan.com/happysshare.asp>
電話での問合せ TEL:0120-125-204

社会起業家への支援

(特活)大阪NPOセンター 2008年度 “志”民ファンド助成

“志”民ファンド(=市民社会創造基金)は、社会起業家を支援する「志」をもつ社会投資家の寄附を原資として、地域の様々な課題解決のために新たな公共財・サービスの開発、供給等の事業活動を展開していかうとする「志」を持つ社会起業家を支援するしくみです。

対象となる事業 関西地方(大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、奈良県、滋賀県)において、地域の様々な課題解決のために実施される社会的な事業活動

助成内容

(1)助成金と経営支援

- 個人、団体に対し、社会投資家が事業活動に必要な資金であると判断した額を市民社会創造基金より助成します。2008年度は総額1,000万円、採択数は応募数に関わらず、実効性ある優良案件とします。
- さらに持続的な事業活動の発展に資するために、助成金のほかに、大阪NPOセンター認定コンサルタント等による経営診断、経営指導を行います。また、社会投資家の意思により、社会投資家自らの助言、提携等の活動協力、出資等の支援を受けることができます場合があります。

(2)経営支援

- 社会投資家が助成金支援より先に、経営支援を実施することが適切であると判断した場合、大阪NPOセンター認定コンサルタント等による経営診断、経営指導を行います。
- また、社会投資家自らが経営に関する助言等を実施する場合があります。
- 経営支援終了後、再申請の上、助成金支援の可否を審査します。

応募受付期間 2008年7月7日(月)～8月29日(金)必着

問合せ先 大阪NPOセンター“志”民ファンド事務局 担当:大友(おおとも)

Tel.06-6460-0268 Fax.06-6460-0269 電子メール: info@osakanpo-center.com

* 詳しくはホームページをご確認ください。 <http://www.osakanpo-center.com/>